

今月の特集関連本 ⑤

**その呼吸器診療 本当に必要ですか？****あるのかないのかエビデンス**

倉原 優＝著

本体 4,200 円＋税／A5 判・336 頁／医学書院／2019

呼吸器領域の日常臨床で、“正論”だと思われている診療の常識に対し、果たしてその診療は本当に必要なものなのか、ひょっとしたら不要ではないのかといった“グレーゾーン”の29テーマをピックアップし、著者らしい切り口で論を展開、最適解を示した。エビデンスに基づき、終末期医療などさまざまな意見が共存するテーマについても現状の知見やデータを提示する。臨床現場で悩める若手呼吸器科医・内科医・ジェネラリストに向け、今後の診療において進むべき道筋を照らす1冊。同著者の『呼吸器診療 ここが「分かれ道」』（2015）同様、「間質性肺疾患」に1章を割く。